

評価結果反映報告書

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの2021年度業務実績評価結果の主要な反映状況

評価項目	評価における主な指摘事項	2022年度の業務運営等への反映状況
2021年度業務実績評価 全体評価	都産技研の更なる認知度向上に向け、戦略的な広報展開や職員の情報発信力の強化を、より一層強く進めていくことが望まれる。	以下の取り組みを通して、イベントやウェブサイトにおいて利用者目線を意識した「わかりやすいPR」を推進した。 <ul style="list-style-type: none">・イベント、展示会の出展効果を高めるため、外部有識者のアドバイスに基づき、統一感及び誘目性を高めたブースを設計・研究成果等の普及促進のため、プレス発表資料を記者および技術者に伝わりやすい内容に改善し、プレス発表後の問合せが増加・都産技研未利用者や遠隔地の利用者に都産技研保有設備をPRするため、ウェブサイトにヴァーチャル見学ページを制作・展示会の一般来場者に向けた研究成果の発表に関する所内研修を実施し、職員の情報発信力を強化
2021年度業務実績評価 全体評価	業務のDX化を更に推進し、データ分析・活用による中小企業支援施策の質の向上や利用者の利便性に資する取組、より効率的な業務運営につながる取組を講じていくことが望まれる。	以下の取り組みを通じて、データ分析・活用基盤の整備、利用者の利便性向上、業務のDX化を推進した。 <ul style="list-style-type: none">・個別導入していたツール、グループウェアから統合ソリューションサービスに移行、展開し、生産性向上ツールの活用とセキュアな業務環境を実現。また、データ連携やBIツールの活用基盤を構築し、支援業務等の利用状況分析を迅速に把握・QRコードを用いた無人受付システムを導入し、入退館手続き及び在館者数の管理を簡略化

		<ul style="list-style-type: none">・オンライン機器予約システムを導入し、機器空き状況のウェブサイトでの提供、オンラインでの仮予約が可能な環境を整備し、一部利用者に先行提供。・業務のDX化に向けた職員提案型の推進活動を7件実施し、今後の全所展開への課題抽出と実現性を検討
--	--	--